

2013年3月期(FY2012)
第3四半期
連結決算報告



大幸薬品

2013年2月
大幸薬品株式会社



- 感染管理事業が大幅に伸長
- 通期業績予想を上方修正

連結經營成績

連結経営成績サマリー

➤ 感染管理事業の伸長により増収増益

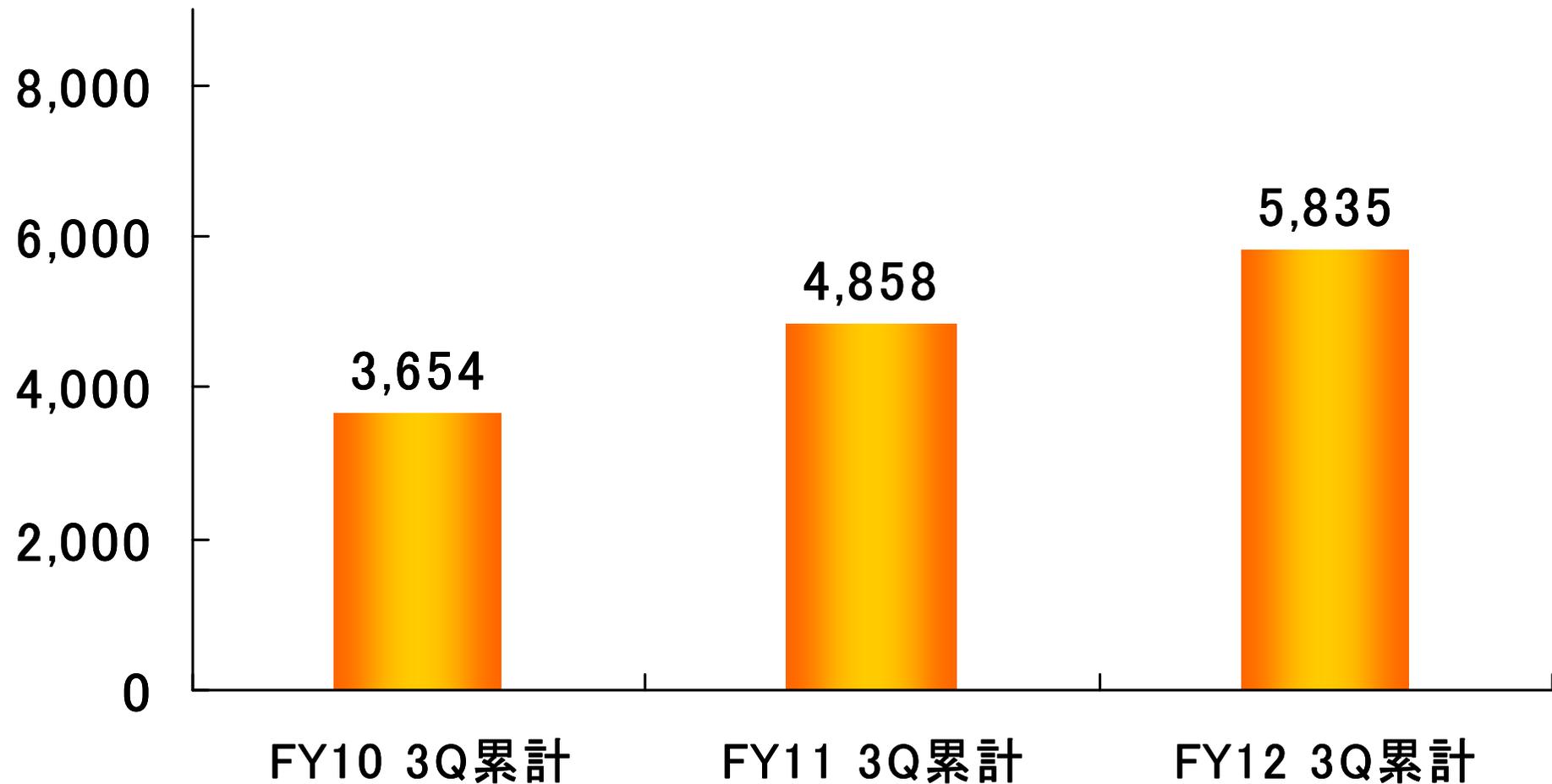
単位：百万円

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	4,858	5,835	976	20.1%	医薬品) 国内減少を海外増加で吸収 (前年同期比 65百万円増) 感染管理) 一般用、業務用ともに増加 (前年同期比 914百万円増)
売上原価(※) (売上高比率)	1,523 (31.4%)	2,039 (34.9%)	515 (3.6P)	33.9%	売上総利益増加の一方、原価率は上昇 原価率上昇要因
売上総利益 (売上高比率)	3,335 (68.6%)	3,796 (65.1%)	460	13.8%	医薬品) 前期から繰越したコスト影響(変動賞与引当金 や修繕費等)、海外売上高比率上昇等 感染管理) 返品調整引当金繰入額の増加等
販売費及び 一般管理費	2,503	2,501	△1	△0.0%	オフィス賃借料増加の一方、 販売費や人件費が減少
営業利益 (売上高比率)	832 (17.1%)	1,294 (22.2%)	462	55.5%	感染管理事業の増収増益による改善
経常利益 (売上高比率)	843 (17.4%)	1,345 (23.1%)	502	59.6%	
四半期純利益 (売上高比率)	702 (14.5%)	1,247 (21.4%)	544	77.5%	前3Q：特別損失140百万円計上 (退職給付制度改定損、減損損失等) 当3Q：法人税等(74百万円増)及び 法人税等調整額(23百万円増) 計98百万円増加

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

➤ 医薬品事業、感染管理事業ともに増収

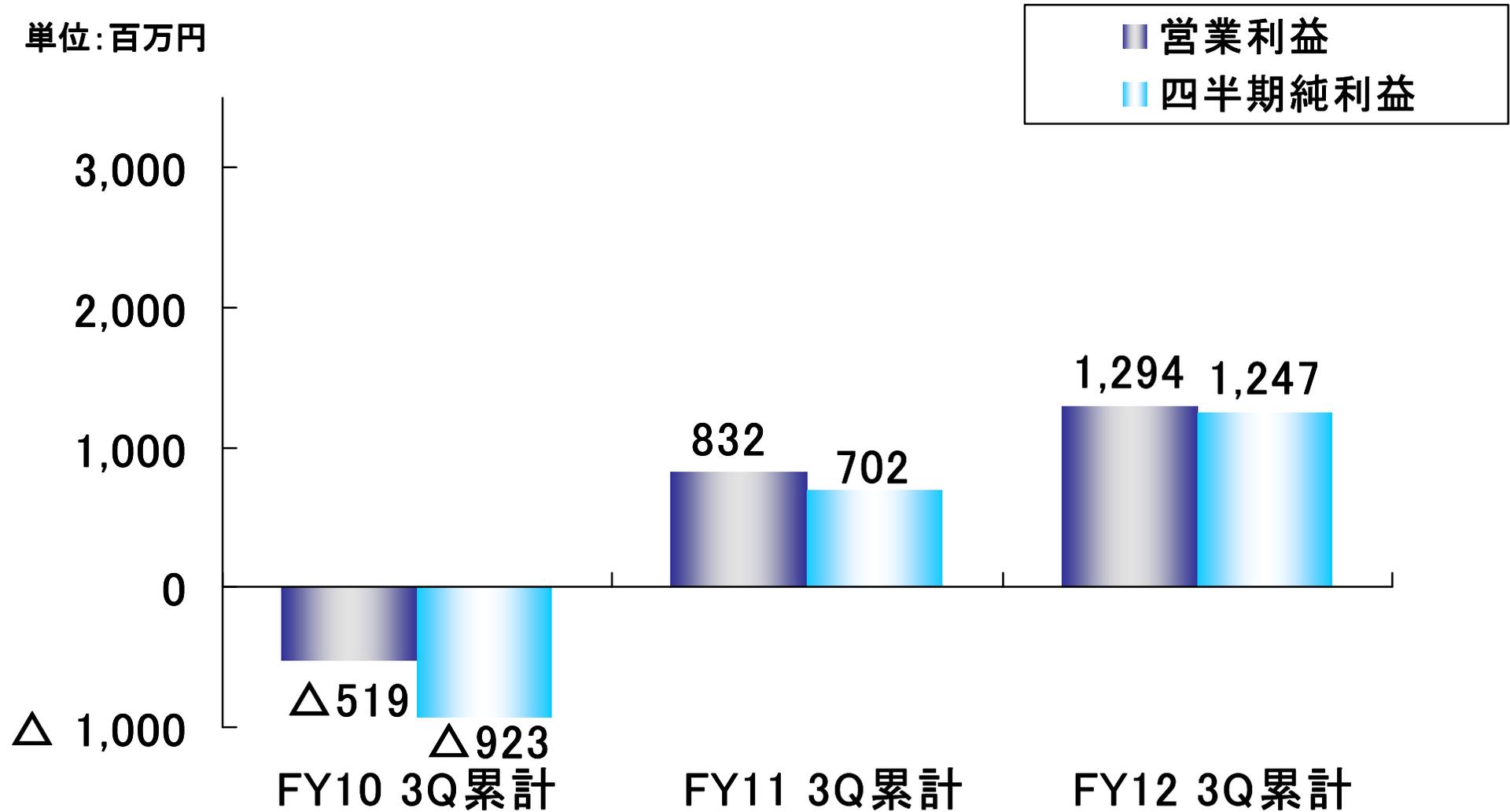
単位：百万円



連結営業利益・四半期純利益推移

➤ 感染管理事業が増益に貢献

単位：百万円



販売費及び一般管理費

▶ 売上高増加に対しコストは減少

単位：百万円

	FY11 3Q累計	売上高 比率	FY12 3Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	900	18.5%	883	15.1%	△17	△1.9%	
広告宣伝費	538	11.1%	520	8.9%	△18	△3.4%	感染管理のTVCM費用が減少 (医薬品関連は増加)
販売促進費	252	5.2%	265	4.5%	12	5.0%	
運送費	109	2.3%	97	1.7%	△11	△10.8%	倉庫集約による保管料減少
人件費	918	18.9%	901	15.5%	△16	△1.8%	
その他経費	684	14.1%	716	12.3%	32	4.8%	オフィス(東京)賃借料の増加等
研究開発費	142	2.9%	125	2.2%	△16	△11.7%	研究開発スケジュール見直し等
支払手数料	140	2.9%	146	2.5%	6	4.7%	
計	2,503	51.5%	2,501	42.9%	△1	△0.0%	

連結財政状態

➤ 資産増加の一方、株主還元等により現預金は減少

単位：百万円

	FY11 4Q期末	FY12 3Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	8,712	9,113	400	4.6%	
現金及び預金	4,661	4,217	△444	△9.5%	営業CF 190百万円 投資CF △117百万円 財務CF △447百万円
売上債権	2,443	3,408	965	39.5%	売上高伸長に伴う売上債権の増加
たな卸資産	1,352	1,240	△112	△8.3%	
固定資産	3,548	3,561	12	0.4%	
資産合計	12,261	12,674	413	3.4%	
流動負債	2,405	2,019	△385	△16.0%	未払金(広告宣伝費等)の減少等
仕入債務	387	596	209	54.1%	
固定負債	1,072	1,035	△36	△3.4%	
純資産	8,783	9,619	835	9.5%	利益剰余金増加 1,052百万円 自己株式増加 △281百万円
負債純資産合計	12,261	12,674	413	3.4%	

自己資本比率	71.3%	75.4%
--------	-------	-------

連結キャッシュ・フロー状況

➤株主還元等によりキャッシュは減少

単位：百万円

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	主な要因
営業活動CF	△323	190	EBITDA 1,476百万円 売上債権の増加 △967百万円 たな卸資産の減少 112百万円 未払金の減少 △460百万円
投資活動CF	34	△117	医薬品に係る設備投資等
財務活動CF	△38	△447	配当金の支払 △193百万円 自己株式の取得 △285百万円
現金・同等物換算差額	△20	△0	
キャッシュ増減(※1)	△347	△373	
キャッシュ期末残高	3,725	4,080	
EBITDA(※2)	1,020	1,476	営業利益 1,294百万円 減価償却費 182百万円

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業) 原価率上昇等により利益減少
- 感染管理事業) 増収に伴い損益面も大幅改善

単位:百万円

	売上高			営業利益			
	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減率	FY11 3Q累計	利益率	FY12 3Q累計	利益率
医薬品事業	4,008	4,074	1.6%	1,898	47.4%	1,692	41.5%
感染管理事業	831	1,746	109.9%	△23	-	513	29.4%
その他事業	17	14	△21.3%	△13	-	△15	-
全社(※)	-	-	-	△1,029	-	△895	-
連結合計	4,858	5,835	20.1%	832	17.1%	1,294	22.2%

(※)全社に係るコスト(主に管理部門コスト等)

➤ 止瀉薬市場の停滞から『正露丸』が減少



正露丸



セイロガン糖衣A



ピシャット錠



榎屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減	増減率
正露丸	1,509	1,400	△108	△7.2%
セイロガン糖衣A	1,705	1,678	△26	△1.6%
その他(※)	152	167	15	10.2%
計	3,366	3,247	△119	△3.5%

(※) 止瀉薬『ピシャット錠』、小児五疳薬『榎屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』等

当社の国内止瀉薬市場シェア(店頭小売価格ベース)

出所: (株)インテージ 調査データ

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減
市場シェア(※)	52.9%	52.0%	△0.9P

(※)シェア内訳: 『正露丸』、『セイロガン糖衣A』、『ピシャット』ブランド

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 主力の中国・香港市場が堅調
- 現状、日中関係による深刻な影響は見られず

地域別売上高

単位：百万円

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減	増減率
中国・香港	564	713	149	26.5%
台湾	73	96	22	31.0%
その他(※)	3	16	12	317.7%
計	642	827	184	28.8%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア：
アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

➤ 最需要期(3Q)に入り一般用が大幅伸長、業務用も堅調

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリンG スティックタイプ

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減	増減率
液剤	85	206	121	141.0%
ゲル剤	689	1,386	697	101.2%
クレベリン発生機 (※1)	43	154	110	254.2%
その他 (※2)	13	△1	△14	-
計	831	1,746	914	109.9%

(※1) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

(※2) キット製品、周辺製品(マスク、ハンドジェル)

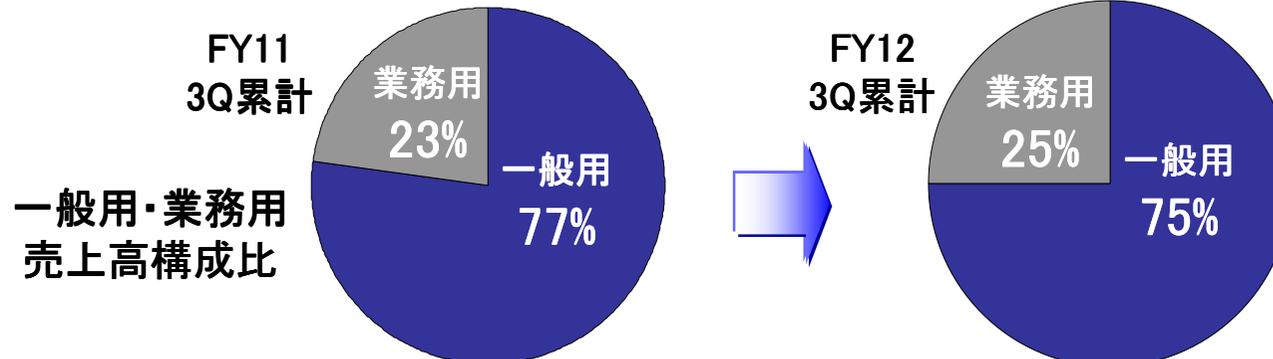


DENSO

車両用クレベリン



クレベリン発生機
リスパス NEO



セグメント別事業概況(その他事業)

➤木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY11 3Q累計	FY12 3Q累計	増減	増減率
木酢製品等	17	14	△3	△21.3%

通期業績予想

通期業績予想(対期初予想比較)

➤ 通期予想を上方修正 (2013年2月7日付)

単位:百万円

	FY12 期初 予想	FY12		増減	増減率	増減要因等	
		3Q累計 実績	4Q 予想				
売上高	6,500	5,835	1,265	7,100	600	9.2%	感染管理の伸長により増収
医薬品	5,201	4,074	941	5,016	△184	△3.6%	海外向けは計画を上回る一方 国内向けは減少を予想
感染管理	1,273	1,746	318	2,064	791	62.1%	
その他	25	14	5	19	△5	△23.0%	
営業利益 (売上高比率)	550 (8.5%)	1,294	△443	850 (12.0%)	300	54.6%	3Q利益拡大により大幅増益、 利益率も上昇
経常利益	530	1,345	△444	900	370	69.8%	ただし、4Qは売上減少と販管費 増加(販促費や人件費等)から 損失を予想
当期純利益	500	1,247	△516	730	230	45.9%	

通期業績予想(対前期実績比較)

▶ 前期実績に対しても増収増益予想

単位:百万円

	FY11 実績	FY12 修正予想	増減	増減率	増減要因等
売上高	6,683	7,100	417	6.2%	
医薬品	5,085	5,016	△68	△1.4%	海外向け増加の一方 国内向けは減少
感染管理	1,576	2,064	488	31.0%	一般用、業務用ともに増加
その他	21	19	△2	△11.0%	
営業利益 (売上高比率)	515 (7.7%)	850 (12.0%)	335	65.2%	売上総利益の増加に加え 販管費減少、利益率上昇
経常利益	558	900	342	61.2%	
当期純利益	482	730	248	51.6%	



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。